

3. 膝立ち起立腹臥位

- (1) 座位部分に膝を深く押し入れて、背部に腹臥になります。
- (2) お尻をしっかり押し入れて、骨盤ベルト⑨を取り付けてください。
- (3) 背部にも、胸ベルト⑩を取り付けてください。



4. 伸展位腹臥位(四つばい位)

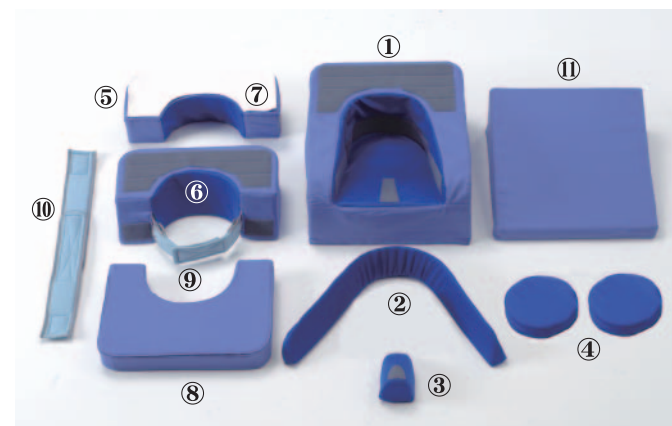
- (1) テーブルを外して背もたれ⑤・⑥を取り外します。
- (2) 取り外した背もたれ⑤・⑥を、本体後部に取り付けます。
- (3) テーブル⑧をセットして、後部より三角マット⑪を差し入れます。
- (3) 面部に膝を入れ込み、四つばい位の姿勢をとります。
- (4) ずり落ちないように、お尻または背中部分に、胸ベルト⑩を止めます。



《はじめに》

この度は、本製品をお買い上げ頂き、有り難うございます。
本製品は、お子様にとって良きパートナーとして、皆様のご期待に添えるものと確信しております。この取扱説明書には、本製品を安全に正しくご使用していただくための必要な説明がされています。ご使用前に、この取扱説明書を良くお読み頂き、本製品の特徴を良く理解して下さい。また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂けますようご活用下さい。

I. パーツ名称



- ① 本体 ② 骨盤パッド ③ 内転パッド ④ 体幹パッド(2ケ)
⑤ 背もたれ ⑥ 背もたれ ⑦ 背もたれ用カバー
⑧ テーブル ⑨ 骨盤ベルト ⑩ 胸ベルト ⑪ 前腕・手部支え
(三角マット)

II. ご使用前に 《重要》

- 本人の症状にあわせて、セラピスト他専門家にセッティングして貰ってください。
- 様々なポジショニングが経験できますが、専門家の適切な訓練プログラムの指導を受け、長期間使用の際は、定期的に専門家の指導を受けて下さい。

III. ご使用上の注意と危険 《重要》

- 使用時間は、15分を目安にご使用ください。
- 介助者が必ず付き添って使用してください。
- 本人以外は使用しないでください。
- 成長又症状が変わった時は、専門家に相談してください。
- 指定された以外の使用はしないで下さい。
- 指定されたベルト・パッドは必ず点検後使用してください。
- 平らな床面で安全なところで使用してください。
(フローリングの床・畳などは滑る危険があります。)
- 本製品は、傾斜がついていますので、転倒・ずり下がりの原因になります。
ベルト・パッドは必ずお付けください。
- 体の前にボタンや凹凸のある洋服は危険です。
- 人を乗せたまま移動しないで下さい。
- 体調が悪いとき・異常が出たときは、使用しないでください。
- 使用してしばらくした時、痰があがってきて、サチュレーションがさがる場合があります。吸引をする又は、降ろして痰をだしてください。
- ファスナーのとめ金具は、肌や床を傷つけるおそれがあります。きちんと閉まっていることを確認してください。
- マジックテープの凸面は、肌を傷つけるおそれがあります。
- 膝立ちの時は転倒の可能性がありますので、壁などに寄せて使用してください。
- 火器・加熱する物がある所での使用はしないでください。火災の原因になります。万一火災になりますと有毒なガスが発生します。
- ウレタンの劣化の原因になりますので、カバーは付けて使用してください。
- 製品の上で飛び跳ねるなど遊ばないでください。
- 各ベルトを持ち手として使用しないでください。

IV. みらいチェア 2 セッティング方法

1. 座位

- (1) テーブル⑧を外し、深く腰を入れ込みながら座ってください。
- (2) 骨盤パッド⑨をしていただいて、テーブル⑧を付けてください。
- (3) 体が左右に傾くようであれば、体幹パッド④を腰に当て使用してください。



2. 前傾姿勢座位

- (1) テーブル⑧を外して、背もたれ⑤をテーブルのかわりにセットしてください。
その時、背もたれ用カバー⑦を取り付けてください。
- (2) 背もたれ⑤のサイドのメスマジックテープに、後から巻き込みながら胸ベルト⑩を固定してください。
- (3) 後方底より、三角マット⑪を差し込んで、前傾の姿勢にしてください。
- (4) 背もたれ⑤が高い場合は、通常のテーブル⑧を使用してください。



みらいチェア-2

取扱説明書

《保存用》



